

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年 6月 5日 (水)

2 確認箇所

No. 2 危険物屋外貯蔵所

3 確認項目

No. 2 危険物屋外貯蔵所の現況

4 確認結果の概要

No. 4 重油タンク（5、6号機南東側）は東日本大震災の津波により移動し、配管類が損傷して重油が流出した。回収された重油は、他の油類とともにNo. 2 危険物屋外貯蔵所に保管されている。また、No. 4 重油タンク内には重油が残存していることが想定されており、東京電力は、今後、重油タンク内部の状況を確認し、残油が認められた場合には、残油を移送してNo. 2 危険物屋外貯蔵所に保管することとしていることから、No. 2 危険物屋外貯蔵所の現況を確認した。

- ・ No. 2 危険物屋外貯蔵所は固体廃棄物貯蔵庫第9棟の北側にあり、支柱とチェーンで区画されたコンクリート基礎上に、軽油、重油及び潤滑油を収納したタンクコンテナが2段積みで保管されていた。（写真1）
- ・ タンクコンテナには、表面が汚れているものもあったが、確認した範囲では、塗装面の剥離や錆の発生が著しいものはなく、油類が漏えいした形跡も認められなかった。（写真2）
- ・ 貯蔵エリアには空きスペースがあり、また、空のタンクコンテナも保管されており、貯蔵量にはまだ余裕がある状況であった。（写真3）



(写真 1-1)

No. 2 危険物屋外貯蔵所の概観①
(北側から撮影)



(写真 1-2)
No. 2 危険物屋外貯蔵所の概観
(南側から撮影)



(写真 2-1) タンクコンテナの保管状況①
(南側から撮影)



(写真 2-2) タンクコンテナの保管状況②
(東側から撮影)



(写真 3-1)
空きスペースの状況



(写真 3-2)
空のタンクコンテナの保管状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。